

発掘！新たなビジネスアイデア！

～気象データを利用したビジネス 創いませんか？～

次代の ビジネス は
時代 を担う 君達 が 創る

報告書

目次



1. アイデアソンの概要
2. 実施プログラム
3. ワークショップの内容と成果
4. 気象ビジネス企画シート
5. アンケート集計結果

1. アイデアソンの概要



目的

- 気象ビジネス推進コンソーシアム(WXBC)の認知度向上
- 若い世代に気象や気象業務、WXBCへの理解を深めていただく。

テーマ

発掘！新たなビジネスアイデア！
～気象データを利用したビジネス創りませんか？～

開催日時

平成30年3月3日(土)13:30～17:00(意見交換会 17:00～18:00)

開催場所

福岡管区気象台2F 大会議室

参加者

学生8名 気象庁職員2名 計10名

主催

福岡管区気象台
気象ビジネス推進コンソーシアム

1. アイデアソンの概要



本企画は、気象データとIoT/AI技術を関連づけながら、気象データを用いたビジネスアイデアをグループワーク形式で協力して作り上げる企画です。WXBC(気象ビジネス推進コンソーシアム)が主導する流れを引き継ぎ、若い方々に気象業務への関心を深めていただき、長期的には気象ビジネス人材育成に寄与することを目指して企画されました。今回は18歳以上～30歳未満の若い年齢層を対象に参加者を募集し、実施しました。

本企画では学生参加者8名(理学系・情報系の大学生・大学院生・専門学校生)で、参加者4名の班と、参加者4名に気象台若手職員2名を加えた6名の班で、二つのグループに分かれての進行となりました。

企画プログラムのオリエンテーションでは、気象台職員による気象データの種類及び利活用例についての講演と併せて、九州大学共進化社会システム創成拠点の高野茂准教授に、都市OS(ICTの存在を前提とした新しい社会システム)とオープンデータについて、参加者が気象ビジネスアイデアを考案する際の事前知識を提供していただきました。

さらにグループワーク全体を通じて、高野准教授にはIoTアドバイザー役(IoT・AI技術についての助言役)も担っていただき、本庁及び気象台職員がグループ内での気象アドバイザー役(気象データとその利用シーンについての助言役)を務めました。

各アドバイザーのサポートや参加者の皆さんの活発な議論により、成果として、17枚ものアイデアシートが作成され、さらにその中から参加者投票によって選ばれた2枚のアイデアシートを元に、気象ビジネスをより具体化する企画書を作成していただきました。

なお、企画を実施するにあたって、WXBC(気象ビジネス推進コンソーシアム)と共催させていただき、スタートアップカフェ、福岡市内の各大学には本企画の広報・周知にご協力いただきました。

加えてオブザーバーとして、株式会社レッドマルスADベンチャーさまにご参加いただきました。

2. 実施プログラム



時間	内容
13:30~14:10	オリエンテーション
14:10~14:15	休憩
14:15~14:25	アイスブレイク(自己紹介 & 他己紹介)
14:25~14:40	グループワーク①「日常生活でどのような気象データを使っていますか？」
14:40~15:05	グループワーク②「気象×〇〇」＜アイデア発想＞
15:05~15:20	アイデアシート作成
15:20~15:35	アイデアシートへの投票
15:35~15:45	休憩
15:45~16:35	企画書作成
16:35~16:55	企画書発表・質疑応答・講評
16:55~17:00	気象ビジネス推進コンソーシアム(WXBC)紹介
17:00~18:00	意見交換会(写真撮影・懇談会)

3. ワークショップの内容と成果

アイスブレイク(自己紹介・他己紹介)



- 各参加者がニックネームを書いたカードと自己紹介用のキーワードを書いたカードを作成。
- 2人1組でニックネームとキーワードを用いて自己紹介
- 同じ組の相方をグループ全員に紹介(他己紹介)

<使用資料>

ギター

←ニックネームカード

自己紹介用→
キーワードカード

野球

※上記は実際に使用されたカードではなく、作成例です。

<実施風景>



3. ワークショップの内容と成果

グループワーク②「気象×〇〇」＜アイデア発想＞



- ワークシートで気象と結びつくキーワード(趣味・特技・流行等)とビジネスアイデアを記入
- グループ内で2人1組を作りお互いのアイデアへの意見交換を行う。組む相手を変えながら、3回意見交換を実施した。

＜ワークシート＞



＜実施風景＞



3. ワークショップの内容と成果

グループワーク②「気象×〇〇」＜アイデア発想＞



- ワークシートで気象と結びつくキーワード(趣味・特技・流行等)とビジネスアイデアを記入
- グループ内で2人1組を作りお互いのアイデアへの意見交換を行う。組む相手を変えながら、3回意見交換を実施した。

＜配布参考資料＞

気象用語キーワード集

気温	湿度	降水量	風向
風速	日照時間	積雪深	台風
竜巻	雷	雨・雪・大雨・大雪・豪雨・豪雪	気象レーダー
高層気象観測	アメダス(AMeDAS)	あられ・ひょう	地吹雪
なだれ	着氷・着雪	静止気象衛星「ひまわり」	衛星観測データ
霧・濃霧	煙霧	黄砂	砂塵あらし
紫外線	洪水	霜	航空気象観測
降水・雷・竜巻発生確度 ナウキャスト	数値予報	GSM・MSM・LFM	ガイダンス
アンサンブル予報	解析雨量・降水短時間予報	推計気象分布	天気予報・週間天気予報
異常天候早期警戒情報	季節予報	エルニーニョ監視速報	注意報・警報
特別警報	土砂災害警戒情報	土砂災害警戒判定メッシュ情報	大雨警報と洪水警報の 危険度分布
記録的短時間大雨情報	海上警報・予報	天気図	航空気象予報
海面水温	表層水温	海流	沿岸波浪
数値波浪モデル	潮位観測情報	地方海上分布予報	海氷
降灰予報	噴火警報・予報	遠望観測(火山)	火山ガス観測
震動観測(火山)	地殻変動観測(火山)	噴火速報	火山の状況に関する解説情報
緊急地震速報	震度速報	津波警報・注意報・予報	津波情報

3. ワークショップの内容と成果

アイデアシート作成



- グループワーク①とグループワーク②で挙げたアイデアを各個人で具体化する。

※今回挙げたアイデアについてはまとめて別紙pdf「アイデアシート報告」に掲載

<ワークシート>

アイデアシート

(タイトル)

アイデアの詳細や補足説明(絵や図でもOK)

得票数 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

<実施風景>



3. ワークショップの内容と成果

アイデアシートへの投票



- 参加者が作成したアイデアシートを参加者全員に共有し、各ワークシートに対し1人1票した。
- 投票の結果上位となった2つのアイデアシートに希望者が集い、班を編成した。

<実施風景>



4. 気象ビジネス企画シート

企画書作成



- 班でのグループワークで気象ビジネス企画シート(発表資料)を作成
- 「タイトル」「ターゲット(利用者)」「ねらい・目的」「製品・サービスの内容(使用するデータ)」「実現方法」「実現に必要な活動(人と企業と団体のつながり・宣伝・料金設定等)」の観点で作成

<ワークシート>

気象ビジネス企画シート タイトル: _____

チーム名: _____ メンバー: _____

ターゲット (誰に向けて)	ねらい・目的 (何のために)	実現方法 ・どうやって実現するか？ 気象データを活用してみよう！ IoT・AI技術を利用してみよう！
製品・サービス ・どんなシーンで利用する？ ・どんな悩みを解消する？ ・どんな驚き・感動がある？ ・何を提供する？ ・具体的な内容は？		
使う気象データ		
宣伝方法		
		人と企業と団体とのつながり
		料金設定
		その他の設定

<実施風景>



4. 気象ビジネス企画シート

企画書発表・質疑応答・講評



<実施風景>



高野先生による講評

企画書の発表

上: チーム「きっしーず」による
企画「気象ゲッター」の発表

右: チーム「予報士予備軍」による
企画「ぼくらの予報士」の発表



4. 気象ビジネス企画シート

企画書発表: チーム「きっしーず」による企画「気象ゲッター」



気象ビジネス企画シート タイトル: 気象ゲッター

チーム名: きっしーず

メンバー: だーりん、きんぎょ、おにぎり、おにぎり

ターゲット
(誰に向けて)
気象や気候に興味のある人

ねらい・目的
(何のために)
いい写真をおさめてもらいたい。

実現方法

- ・アプリで SNS (Instagram, Twitter など) と連携
- ・気象ゲッター しては気象を観望するときは 通知
- ・撮影場所のデータを収集 → 近付く撮影ポイント (ポイント) 通知
- ・気象現象を AI で判定 (予測) する。

・どうやって実現するか?
気象データを活用してみよう!
IoT・AI 技術を利用してみよう!

製品・サービス

- ・スマホで気象現象の撮影を狙える
- ・スマホで気象現象の撮影を狙える
- ・撮影方法のポイントや必要な装備を知らせてくれる
- ・気象現象を AI で判定し、発展的な内容を知らせてくれる。簡単な説明もあわせて
- ・SNS と連携すれば 自動投稿もしてくれる
- ・「気象現象」を AI で判定し、発展的な内容を知らせてくれる。簡単な説明もあわせて
- ・気象に興味のある人にも興味を持ってもらうためのサービス。

使う気象データ

気象、気温、湿度 (気象データ)

気象データ → 気象現象の撮影ポイントや必要な装備を知らせてくれる

気象データ → 気象現象の撮影ポイントや必要な装備を知らせてくれる

宣伝方法

- ・SNS やアプリ

人と企業と団体とのつながり

- ・気象現象の撮影ポイントや必要な装備を知らせてくれる

料金設定

- ・「いいね」や「シェア」に応じて無料
- ・気象現象の撮影ポイントや必要な装備を知らせてくれる

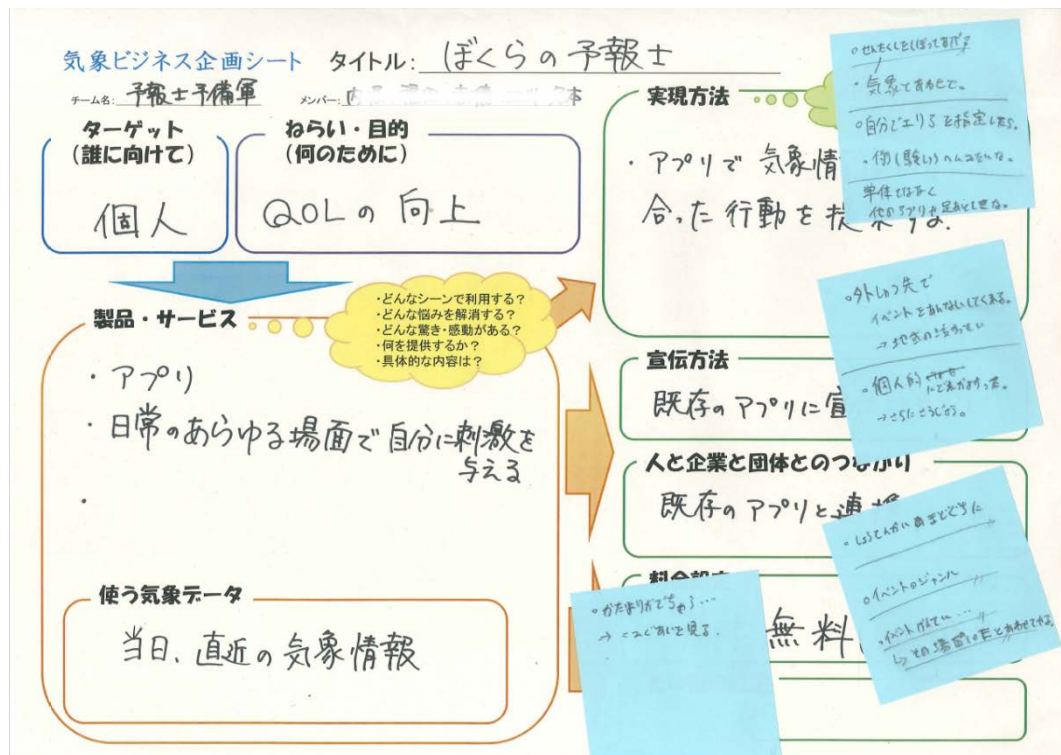
その他の設定

- ・写真のコメント、コメントの返信、気象現象の撮影ポイントや必要な装備を知らせてくれる

企画名	気象ゲッター
狙い・目的	・いい写真をおさめてもらいたい ・気象に興味ない人が興味を持つきっかけ作りに ・研究に役立つテーマへの参加促進
企画内容	・珍しい気象現象の撮影に必要な情報(場所・時間・装備)や、その気象現象に関する説明・発展的な内容等の提供をするサービス ・SNS との連携で、撮影した写真の自動投稿もしてくれる
利用する気象データ	・雲量・気温・湿度等の気象観測実況データ

4. 気象ビジネス企画シート

企画書発表: チーム「予報士予備軍」による企画「ぼくらの予報士」



企画名	ぼくらの予報士
狙い・目的	QOL(クオリティオブライフ)の向上
企画内容	・気象情報と当日の様々なイベント情報から、その時事に応じた過ごし方を提案するアプリケーション ・利用データの蓄積から、AIがユーザーそれぞれの趣向・嗜好に合った提案を自発的に行い、日常のあらゆる場面で刺激を与えてくれる
利用する気象データ	・当日の実況気象観測データ ・天気予報等の気象情報

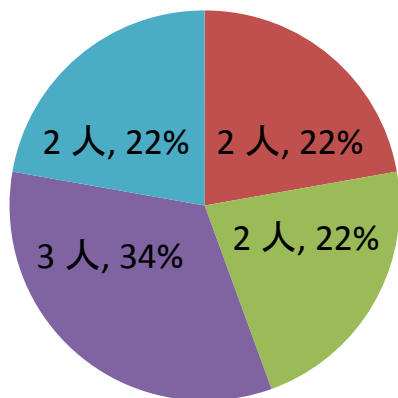
5. アンケート集計結果(企画前後の比較)



<事前アンケート>

気象について友達や家族と
頻繁に話し合っているか

0 人, 0%



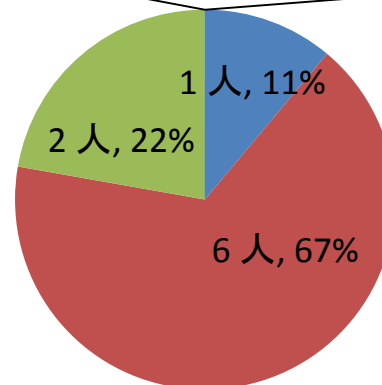
- よくあてはまる
- 少しあてはまる
- どちらでもない
- あまりあてはまらない
- 全くあてはまらない

<事後アンケート>

今後、気象情報について友達や家族と
頻繁に話し合ってみたい

0 人, 0%

0 人, 0%



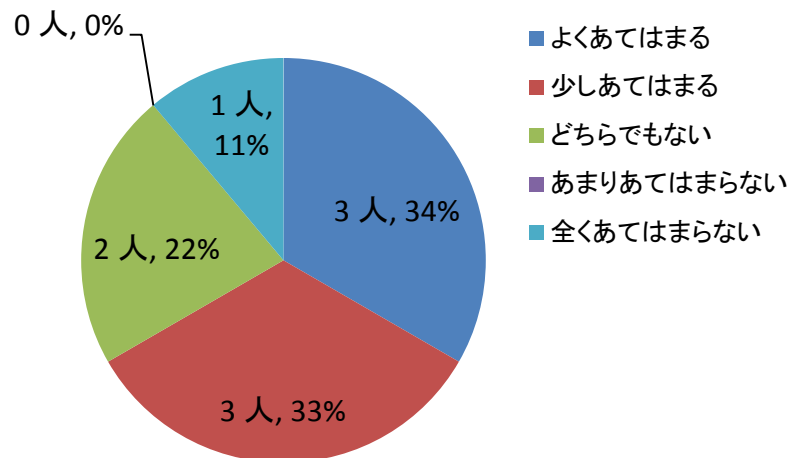
- よくあてはまる
- 少しあてはまる
- どちらでもない
- あまりあてはまらない
- 全くあてはまらない

5. アンケート集計結果(企画前後の比較)



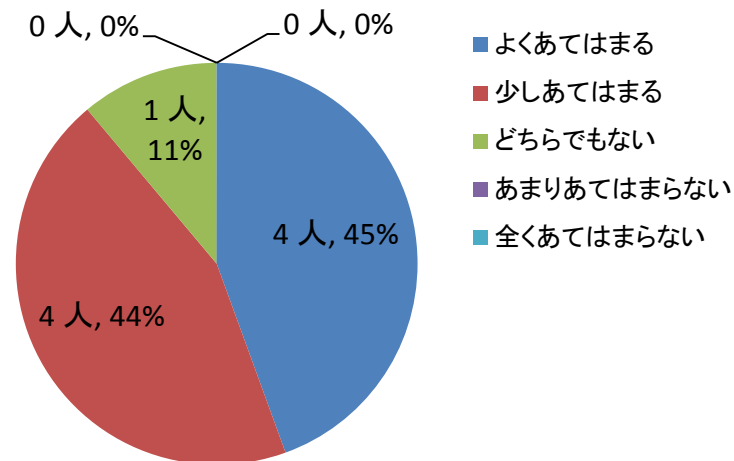
<事前アンケート>

普段から気象情報を活用しているか



<事後アンケート>

今後普段から気象情報を活用したい

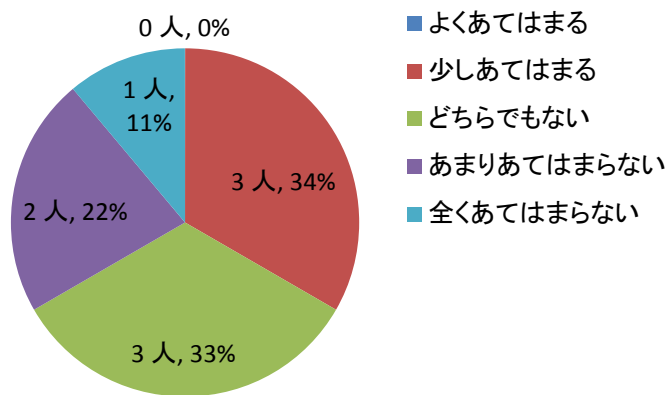


5. アンケート集計結果(企画前後の比較)



<事前アンケート>

気象情報を利用したサービス や製品を知っているか



<事後アンケート>

気象情報を利用したサービス や製品を知っているか

